

■第12回まちづくり協議会の結果（令和3年12月11日開催）

第4回以降、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、人数を分散し二部制で協議会を行ってきましたが、第12回は、全体で協議会を開催しました。

今回は、事務局から、まちづくり説明会の開催結果を報告し、アンケートに寄せられた質問に対する意見交換を行いました。



まちづくり説明会の結果報告を受けて挙がったおもなご意見

（道路の整備について）

- ・6m拡幅により、現地再建が困難な方もいるのではないかと。具体的な補償の話がないため、整備路線沿道の方々は不安に感じている。

（公園・広場等の整備について）

- ・地震等の災害時に備えて、川口市街にあるような、一時的に避難できる空間（一とき避難広場）が当地区内にも整備されるとよい。できるところから整備を進めてほしい。
- ・防災設備の設置だけでなく、地域の憩いの場としても、公園や広場は必要である。

（建物の整備について）

- ・防災上の観点からも、地域にとっても、“集まれる場所があること”は非常に重要である。
- ・さくらプラザのように、町会関係なく柔軟に利用できる多目的施設が、身近にあるとよい。

桜町3・4丁目及び周辺地区

No.18

まちづくりニュース

発行：川口市都市整備部再開発課
編集協力：(株)地域計画連合



まちづくり説明会の開催結果をご報告します！

桜町3・4丁目及び周辺地区では、「安全・安心で住みよい環境づくり」を目標に、地区の課題である密集市街地の改善に向けた検討を行っています。

このたび、川口市では、まちづくり協議会や地域の皆さまと共に検討してきました『整備計画（案）』を取りまとめ、その内容について説明会を開催しましたので、その結果をご報告いたします。

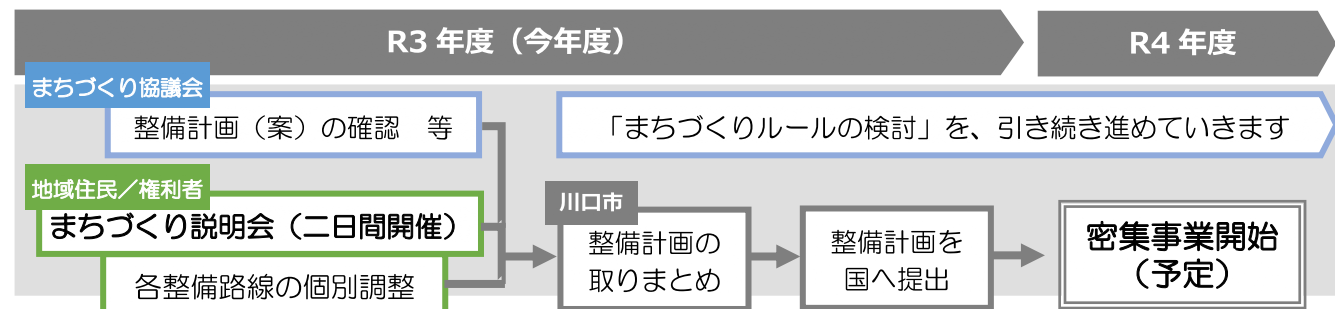


まちづくり説明会当日の様子

令和4年4月より、密集事業の開始を予定しています！

川口市では、まちづくり説明会や各整備路線の個別調整でのご意見等も踏まえ、取りまとめた「整備計画」を国へ提出し、令和4年4月より『住宅市街地総合整備事業（密集住宅市街地整備型）【通称：密集事業】』を開始する予定です。

また、まちづくり協議会では、引き続き、まちづくりルールの検討を進めていきます。



【問合せ先】 川口市 都市整備部 再開発課（鳩ヶ谷庁舎2階）
TEL: 048-280-1220（直通） FAX:048-285-2002
メールアドレス: 130.01010@city.kawaguchi.saitama.jp

桜町地区のまちづくりの記録を市ホームページで紹介しています。

桜町まちづくり 検索

【開催日時】

令和3年11月12日（金）～11月13日（土）

【会場】

桜町3丁目集会所 1階

【開催内容】・整備計画（案）の説明（動画上映※）
・まちづくりに関するパネルの展示

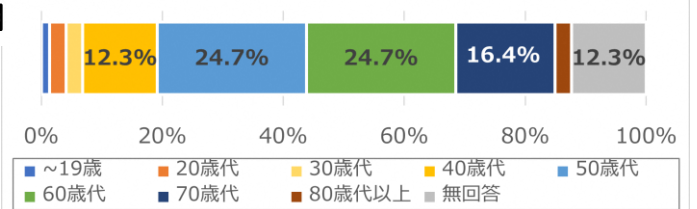
※ウェブ上でも動画の配信を行いました

★来場者数（2日間計）

95名

★来場者属性

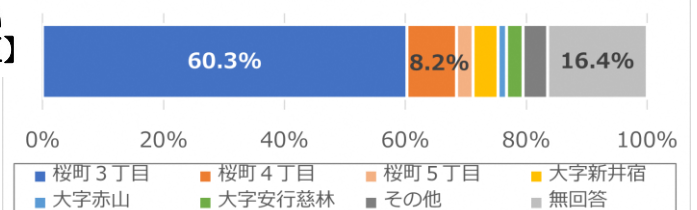
【ご年齢】



★配信動画視聴者数

54名

【お住まいの地区】



※5%未満は、記載を省略

たくさんのご参加やご視聴、ありがとうございました！



◎ 結果の概要については、中面をご覧ください！

まちづくり説明会の結果概要

まちづくり説明会にご来場いただいた方、配信動画をご視聴いただいた方を対象に、アンケートを実施しました。内容の理解度をお聴きし、全体を通して、おおむね7～9割の方に、「全体的に理解できた」または「やや理解できた」と回答いただきました。

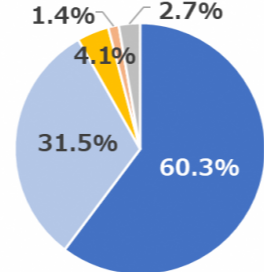
★アンケート回答数
：73件

まちづくり説明会での説明内容（一部抜粋）

アンケート結果 【内容の理解度】

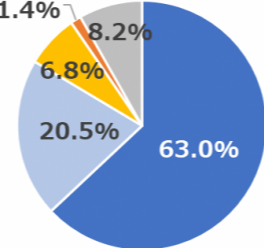
①まちづくりの経緯

- 平成15年度、旧鳩ヶ谷市では、『住宅市街地総合整備事業（拠点開発型）』を開始し、平成24年度には、UR東鳩ヶ谷団地の建替えと外周道路の整備を完了しました。
- 老朽木造住宅の建替えが進んでいない等、地区の防災上の課題が残されたままであることから、平成25年度より、『住宅市街地総合整備事業（密集住宅市街地整備型）』を導入することを視野に入れて、地域全体としてのまちづくりに向けた調査を開始しました。



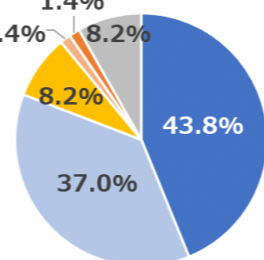
②地区の現況や整備の必要性

- 地区の防災性を評価する指標のひとつとして、当地区には、災害時に円滑な消防活動ができない恐れのあるエリア（災害時消防活動困難区域※）が一部存在します。
- ※災害時でも消防車が進入可能とされる幅員6m以上の道路から、消防ホースが届くとされる140mよりも離れたエリアとして定義されています。



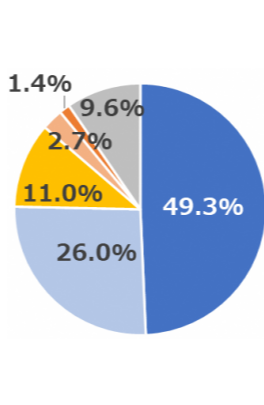
③取り組み状況

- 地域の皆さまとともに「安全・安心なまちづくり」に向けた検討を行うため、平成29年度には「まちづくり懇談会」、平成30年度には「まちづくり勉強会」、令和元年度からは「まちづくり協議会」を開催しています。



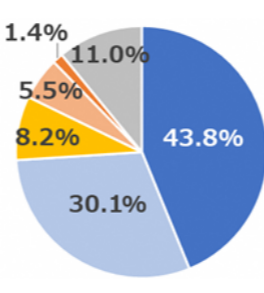
④整備計画（案）の内容

- 「整備計画」とは、『住宅市街地総合整備事業（密集住宅市街地整備型）』の導入に向けて、道路、公園、建物等の整備に関する補助金を国から受けるために、川口市が策定し、国へ提出する計画です。
- 整備計画には、「まちづくりの目標」や、拡幅整備を予定する道路ネットワークを示した「整備計画図」、また、「道路・公園・建物の整備に関する方針」を記載します。



⑤今後の流れ（予定）

- 皆さまからいただいたご意見を参考に整備計画を取りまとめ、国や埼玉県と最終調整を行っています。
- 令和4年3月までに、整備計画を策定して国へ提出し、令和4年4月から事業を開始する予定です。
- 事業開始後は、路線毎の測量・調査を進め、その結果を踏まえて、道路線形等を調整・確定していく予定です。



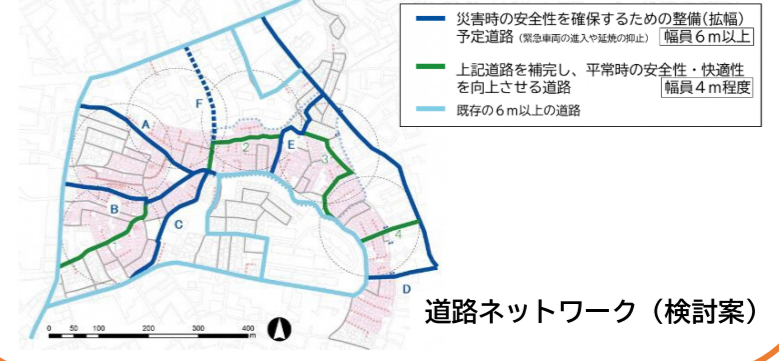
グラフの凡例	■ 全体的に理解できた	■ やや理解できた	■ どちらとも言えない
	■ 理解できない部分もあった	■ 全体的に理解できない	■ 無回答

【おもなご質問とその回答】

Q1 道路ネットワークは、どのように決められたの？



A1 平成30年度に、桜町3・4丁目にお住まいの方を中心に『まちづくり勉強会』を立ち上げ、当地区に必要な道路ネットワークについて検討しました。これを基に、拡幅整備路線を位置づけています。



Q2 整備路線の沿道の方で、事業期間10年の間に建替える予定のない方へは、どのように対応していくの？



A2 事業期間内での整備完了を目指していますが、当事業は、拡幅整備路線の沿道権利者の方々から、ご協力をいただいて用地買収を行うため、期間内の建替えを強制するものではありません。そのため、事業の進捗に応じて事業期間を延長することも検討していきます。沿道権利者の方々との具体的な調整を行った後に、建替えのタイミングに合わせて、土地を買収させていただきます。

【おもなご意見】

- 非常に大切なことを丁寧に説明してもらえて、安心して住むことができる。自分のまちに、もっと関心を持ちたいと思った。
- 早期に道路を整備してほしい。現在でも、歩行者と車がすれ違う際、危険なことが多い。
- 道幅の拡幅にあたっては、関係する住民が、十分納得できるものにしていくことが望ましい。（補償の内容など具体的に提示する等）
- 安心・安全なまちづくりを目指し、防災のための公園を増やす、集会所を避難拠点として活用する、桜町小学校の避難時の進入口を確保するなど、検討してほしい。